

『kanOYA』家庭教育応援ナビ

No.4
R8.7

おやなび

鹿屋市教育委員会 生涯学習課

鹿屋市共栄町20-1 ☎0994-31-1138



子どもにとって家庭とは…

- ♥ 「安心」を得るための心の基地
- ♥ 社会性を学ぶ「最初の学校」
- ♥ 生きていく「力の基礎」

「親の笑顔」が
「子どもの笑顔」を
つくりまします

毎月第3日曜日は

『家庭の日』

今日は家族で心の充電！

一歩外へ踏み出そう！

まぶしい太陽の光とともに、子どもたちが待ちに待った夏休みがやってきます。長い夏休みは、「さまざまな体験」に挑戦する絶好のチャンスです。目で見、耳で聴いて、手で触れる「本物の体験」は、子どもたちの視野を広げ、心を大きく成長させます。安全と健康には十分に気をつけて、家族で、そして地域で、素敵な思い出をたくさん作ってください。

子どもに体験活動は必要なの？

子どもの頃の「体験」が、
数年後の「心の強さ」をつくる！

文部科学省の調査でわかった、
驚きの効果！！

「青少年の体験活動の推進に関する調査研究（2021）」

◇小学生の時の「体験」は高校生になっても生き続ける

小学生時代に自然体験・読書・お手伝いをたくさんした子どもは、高校生になったときに次のような傾向があることがわかりました。

- 自分に自信が持てる（自尊感情）
- 明るく活発に過ごせる（外向性）
- 困難に負けず前向きになれる（精神的な回復力）

「あの時の体験」は、その場限りではなく、数年後の「人間性」を支える根っこ！

◇「遊び場」と「友だち」は大切なスパイス

体験の内容だけでなく、「どこで、誰と」も重要です。

- 自然の中や空き地、路地裏で遊ぶ
- 年上・年下の違う年齢の友だちと遊ぶ

このような経験を持つ高校生も、高い自己肯定感を
持っていることが判明！

◇家庭の状況に関わらず、自然は子どもを育てる

家庭の経済状況に関わらず、自然体験が多い子は自尊感情が高いという結果がでました。自然の中での発見や驚きは、どんな環境にいても子どもの心に平等に栄養を与えてくれます。

今日からできるアクション！

暑さに負けず、外に飛び出そう。

五感を使って自然と遊ぶ「ネイチャーゲーム」は、親子の体験活動にぴったりです。まずは近所の公園で、楽しい「体験」をプレゼントしましょう。

◇遊びや体験活動の機会はたくさんあります。

- 子ども会活動に参加させましょう。
- 市や地域行事に参加させましょう。
- 青少年社会教育施設「おおすみくん家」の事業に参加させたり、施設を利用したりしましょう。
- 家族で体験活動の機会を計画しましょう。



楽しく活動するために

熱中症対策を！

- ◇ 水分・塩分補給
- ◇ 帽子の着用
- ◇ 日陰で休憩

家庭教育 クイズ



【問題】 子どもがテストや行事で頑張った時、自己肯定感を高める「理想的なほめ方」はどれ？

- ① 「100点とれてすごいね！」と結果をほめる
- ② 「次はもっと上を目指そうね」と期待を伝える
- ③ 「毎日コツコツ準備していたね」とプロセスをほめる

「kanOYAトーク」 寿北小学校（おひさま学級）

子育ての悩みを笑顔に！



今年度から市内各学校の家庭教育学級で始まる家庭教育サロン「kanOYAトーク」、トップを切って、寿北小学校で開催されました。

当日は家庭教育サポーター5名を交えて、日頃の不安や悩みをグループでシェア。「悩んでいるのは私だけじゃないんだ」と、ほっと安心できる温かい時間になりました。「身近に相談できる仲間が見つかってよかった」という嬉しい感想も届いています。

「kanOYAトーク」はこれから他の学校でも順次開催される予定です。案内があったらぜひ、気軽に参加してください。一人で抱え込まず、みんなで楽しく子育てのヒントを見つけていきましょう。



家庭教育Q & A

Q 学校を休みがちです。「明日は学校に行く」といいながらも、結局朝起きられず、そのまま欠席してしまいます。どうしたらいいのでしょうか。
(中2女子・保護者)



A 先の見えない不安な気持ちが伝わってきます。なぜ学校に行かないのか、問い詰めたくなるかもしれませんが、子どもは学校に行かないのではなく、行けない状況にあることを理解してほしいです。

子どもは学校に行かないといけないことはわかっています。中学生は心身ともに大きく成長する時期で、精神的に不安定になりやすいです。親子関係、友人関係、先生との関係、先輩・後輩との関係の中で感じるストレスは大人が想像するよりも子どもに強い影響を与えます。また、今の時代、子どもは多くの情報に触れています。現実と理想のギャップを必要以上に感じ、自分を肯定できず、つらさを抱えている子どもも少なくないのではないのでしょうか。今、娘さんはつらいことから距離を置こうとしているのかもしれません。一緒に食事をしたり、たわいもない会話を楽しんだりすることから始めてみませんか。子どもが「ありのままの自分でいいんだ」と思えるようになれば、次のステップが見えてきますし、心の声を言葉にするかもしれません。子どもを信じて見守る気持ちを大切に接してみてもいいのでしょうか。よろしければ...夏休みゆっくり話を聴かせてください😊

鹿屋市青少年育成センター 教育相談員

ひとりで悩まず、心を軽くするお手伝いをさせてください。

鹿屋市教育相談室（リシティ2階） ☎ 0120-555-655（無料）



結果ばかりを憂える失敗を恐れるようになり、プロセスマネジメントや工夫を具体的に認められ、見守られていくという安心感が自立心を養い、結果がでるまで努力を怠りません。結果がでるまで努力を怠りません。

子どもの SOS を感じたら 「189 (いちはやく)」へ

地域全体で子どもたちの安全を守りましょう。「虐待かも」と思ったら、児童相談所虐待対応ダイヤル「189」へお電話ください。（近くの児童相談所につながります。）

- 24時間 365日対応
- 通話料無料・匿名可
- 連絡者の秘密厳守



「間違いかもしれない」という心配は不要です。確証がなくても「虐待かもしれない」と感じた段階で迷わず電話をしてください。あなたの気づきが、家族を救う第一歩になります。

子育てに悩む保護者の相談も受け付けています。

R8 鹿屋市 家庭教育講演会

菅田将暉、こっちのけんと、菅生新樹 個性豊かな「3兄弟の母」の子育て論！！

『スゴ一家流 自己肯定感を高める 子育て、家族育て』

講師：菅生 好身（すこう よしみ）氏
（一社 ルン・レルチア代表理事）

日時：10月3日(土) 10:00～11:40

会場：鹿屋市文化会館

対象：子育て中の保護者、
家庭教育に関心のある方

※ お申込は8月下旬より、広報かのや9月号、講演会チラシの申込みフォームで！

わが家の「ルール」「行事」& 「子育ての思い出」大募集！

「これって私の家族だけ？」我が家の特別な決めごとや続けている年中行事などをご紹介ください。

また引き続き、子育ての思い出も募集しています。「楽しかった瞬間」、「感動した瞬間」、「大変だったこと」、「それを乗り越えた方法」、「親にしてもらった思い出」、「子どもの成長の喜び」、などなど。文字数は400字程度。投稿された記事は『おやなび』でご紹介させていただく予定です。右の二次元コードから御投稿ください。



<https://logoform.jp/form/UH2b/1228001>



解説

家庭教育のススメ ←